

臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある患者様で、診療情報等を研究に利用されることを希望されない場合は、以下の連絡先にお問い合わせください。同意されない場合でも、診療上の不利益が生じることは一切ありません。

■ 研究の対象期間と対象となる患者様

2023年10月14日に当院で腹腔鏡下副脾摘出術を手術された患者さま。

■ 研究課題名

腹痛を契機に発見された有茎性大網副脾の1例

■ 当院の研究責任者(所属)

河野 聡美 (消化器外科)

■ 当院の試料・情報の管理責任者(所属)

河野 聡美 (消化器外科)

■ 本研究の目的・方法・研究実施期間

・目的: 副脾の発生頻度は10~30%と報告されており、そのほとんどが無症状であるため臨床的に問題になることは稀な状況です。副脾捻転を術前診断することは容易ではありませんが、診断がついた際の対応に関しても未だ議論されています。今回我々は腹痛を契機に発見された有茎性大網副脾捻転に対し手術を行った1例を経験したため、国内外における文献的考察を加えて研究し、本症例の報告により、副脾捻転の診断と治療の一助となることを期待して、本疾患の診断および治療戦略の確立に寄与すると考えられます。

方法: 後ろ向き観察研究で、診療上のデータ(カルテ等)を用いてデータの解析を行います。評価項目としては年齢、性別、副脾の大きさ、発症までの期間、手術手技、腹部超音波検査、CT画像検査、MRI画像検査等を用います。

・研究実施期間: 2025年3月13日~2025年5月31日までとします。

■ 研究に用いる試料・情報の項目

観察項目・調査項目・検査項目は、年齢、性別、副脾の大きさ、発症までの期間、手術手技、腹部超音波検査、CT画像検査、MRI画像検査等です。

■ 他の研究機関への提供・提供方法

他の研究機関への試料・情報の提供はありません。

■ 個人情報の取扱い

研究で利用する情報から、患者様を直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

■ お問い合わせ先

担当者(所属): 河野 聡美 (消化器外科医員)

電話:04-7092-2211